



12月定例会

白岩出張所が廃止！ 今後は地域交流・子育て支援の場に

- ☆ 条例改正・補正予算を可決…………… 2P～
- ☆ 委員会審査報告…………… 4P～
- ☆ ここが聞きたい一般質問 9議員が登壇…… 7P～
- ☆ 議会傍聴へ行ってきました…………… 12P～

新成人おめでとうございます
晴れ着姿の新成人の皆さんは、笑顔いっぱい、ピースサインで撮影に応えてくれました。
(本宮市成人式：サンライズもとみや)

4月1日で白岩出張所を廃止

今後は地域交流や子育て支援の場として活用



12月
定例会
12/1~12/9

条例

白岩出張所を廃止

白沢総合支所が、白岩字堤崎地内に移転したことに伴い、白岩出張所を、平成23年4月1日で廃止する条例を可決しました。

質疑

問 廃止後、不便を来たさないための方策と、子育て支援の場としての利用をどのように考えているのか。

答 収納は、郵便局の窓口支払いや、口座引き落としへの移行を推進したい。
今後、地域の交流の場や、放課後児童クラブ活動などに活用する。

自主的財政健全化計画を改訂

急激な社会構造の変化に伴い、新たな財源や財政需要が生じること、財政健全化の目安となる実質公債費比率18%を、計画年度より1年前に達成することができるとの見込みとなったことなどから、「自主的財政健全化計画第2次改定版」を可決しました。

人事案件

人権擁護委員の推薦に同意

人権擁護委員として2期6年にわたり活躍されており、推薦に同意しました。

○再任

・国分八重子さん

(糠沢字小田部)

補正予算

一般会計

緊急性の高い事業の補正と、最終日の追加補正予算を併せ、既定の歳入歳出予算の総額に1億7397万7千円を追加し、119億2468万4千円とする補正予算を可決しました。

国保会計の基盤安定に繰出金

国、県の負担金確定により、市負担分と合わせ保険基盤安定負担金として1469万円。

後期高齢者医療負担金
後期高齢者医療費の伸びに伴い、負担金として5044万円。

市道維持管理・改良工事などに
市道の維持管理、生活道路の改良工事費などに6807万円。

学校管理費や教育振興などに
小、中学校の消耗品の購入や修繕費、就学奨励援助などに412万円。

最終日の追加補正

市議会議員の補欠選挙経費に
本宮選挙区市議会議員の欠員に伴い、補欠選挙の実施や関係経費などに839万円。

教育施設等整備事業基金を積立
市有財産の売却収入を、教育施設等整備事業基金へ586万円積立。

市長へ新年度予算要望書を提出

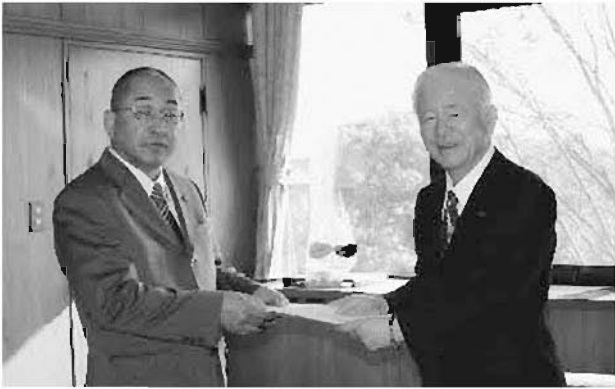
本市は、自主的財政健全化計画を策定し、効率的で効果的な財政運営に努めています。景気後退による税収の落ち込みや第一次総合計画における基本構想への取り組み等により、厳しい財政状況が続くと予想されることから、12月1日に市長へ予算編成に対する要望書を提出しました。

主な要望事項は次のとおりです。

○総務文教常任委員会
自主的財政健全化計画に基づき、適正な財政運営を継続すること。
住民サービスに支障をきたさないよう、職員等の適正配置に努めること。

○生活福祉常任委員会
国民健康保険医療費の伸び等に対して過度の税負担が生じぬよう、市の財政支援による激変緩和措置を講じること。
地球温暖化対策への取り組みとして、新エネルギーの普及促進を図ること。

○産業商工常任委員会
経営基盤の安定のため



要望書を佐藤市長に手渡す矢島議長

事業者に対する支援及び求職希望者への求人情報等の提供を図ること。
今後の地域振興の一つとして企業誘致を図るため、新たな計画も含めて推進すること。

○建設水道常任委員会
道路・水路・橋梁等の修繕が一時期中に集中しないよう、計画的な事業実施を行うこと。

阿武隈川本築堤事業推進のための積極的な支援と、国に対して要望活動を行うこと。

平成22年 第8回 本宮市議会定例会提出 請願・陳情文書表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件名及び要旨	提出者	審議結果
陳情第8号	11月15日	生活福祉	患者の窓口負担大幅軽減を求める意見書採択に関する陳情書	福島県保険医協会 理事長 酒井 学	採 択
陳情第9号	11月15日	生活福祉	肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する陳情書	同 上	採 択
陳情第10号	11月18日	生活福祉	最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める陳情書	全日本年金者組合福島県本部 執行委員長 松本 晴夫 同 本宮支部長 高橋 啓子	不採択
陳情第11号	11月18日	生活福祉	高齢者の生活実態に見合う年金引き上げを求める意見書の採択を求める陳情書	同 上	不採択
陳情第12号	11月18日	生活福祉	後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める陳情書	同 上	不採択

意見書提出

議員発議として、次の意見書3件を可決し、内閣総理大臣をはじめ関係大臣等に提出しました。

患者の窓口負担大幅軽減を求める意見書

患者が費用の心配なく安心して受診できるよう、窓口負担の大幅軽減を求めました。

肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する意見書

高齢者への肺炎球菌ワクチン予防接種の公費助成を求めました。

国民の議論と合意がないままに拙速にTPPに参加することに反対する意見書

TPP(※)は、完全な貿易自由化を目指す国際交渉であり、食料の国内自給率の低下や、日本の農業などを崩壊させる恐れがあることから、拙速な参加に反対しました。

(※TPP…環太平洋戦略的経済連携協定の略。加盟国間で自由貿易圏の構築を目指すための協定)

臨時会

【11月29日】

議員、特別職、一般職員の期末手当支給割合を引き下げ

人事院勧告に基づき、議会議員、市長等の特別職の期末手当の年間支給割合を、現行から0.15月分引き下げ、2.9月とするため条例の改正を可決しました。

また、一般職員の期末勤勉手当の年間支給割合を0.15月分引き下げ、3.9月とし、55歳を超える職員について、給料支給額を0.9%引き下げるため条例の改正を可決しました。

議員辞職

増子善勝氏が10月29日付で、高松義行氏が11月30日付で、一身上の都合により辞職しました。

審査報告

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、市役所総合支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例のほか、議案4件が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。

本宮市自主的財政健全化計画の変更

意見

計画を1年前倒して見直すとのことだが、状況変化に合せた計画変更は行うべきではない。

回答

今回は、前回改訂時以降の状況変化が特に大きかったため見直しを行うものであり、見直し時期は、原則3年毎である。

一般会計補正予算

質疑

出先機関情報通信ネットワーク整備の委託内容は。

回答

現在、工事を進めている光ファイバーケーブルを、岩根小学校と岩根幼稚園に接続するための委託料補正である。なお、白沢地区と岩根地区では、平成23年2月から順次供用を開始する予定である。



幼保一元化施設建設で解体される旧五百川小学校

質疑

白岩幼稚園防護柵設置工事の内容は。

回答

幼稚園敷地西側に、安全確保のため、防護柵を設置するものである。

質疑

文化財保護費の発掘遺物等移送の委託内容は。

回答

幼保一元化施設の建設に伴い、旧五百川小学校校舎を解体するため、施設内に保管してある発掘遺物等を、白岩字関根地内の旧第二児童館に移動する経費である。

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、地域安全条例の一部を改正する条例制定のほか、議案3件、陳情5件が付託されました。

主な審議内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算

質疑

今年度の生活保護の動向は。

回答

保護開始が17件、保護廃止が16件。生活保護世帯の廃止件数が例年より多く、世帯数での伸びは小さいが、医療費の伸びは大きくなっており扶助費が増加している。

陳情の審査結果

陳情第8号は、窓口負担軽減の財源確保のため、国保税等の引上げとなるのではないかとの意見もありましたが、国民の健康を守るという観点からは、窓口負担が軽減されれば、安心して受診できるとの意見が多数を占め、採決の結果、採択すべきと決定しました。

陳情第9号は、肺炎球菌ワクチン接種への公費助成を行うことにより、接種率の向上に寄与

し、高齢者の健康保持と家族の安心にもつながるとの意見により、全員一致で採択すべきと決定しました。

陳情第10号は、最低保障年金を誰もを受給できる制度は、真面目に年金を納める人との不公平感があり、実情にそぐわないなどのため。陳情11号は、生活保護制度との重複、支援額や支援基準、財源の問題があるため。陳情12号は、国において、高齢者医療制度の中間とりまとめが発表され、方針が示されている中で、新たな高齢者医療に移行することは、時間と労力がかかり高コストになること、被保険者の混乱を招くことから、いずれも不採択すべきと決定しました。



国保税負担軽減を求めた陳情を採択（市役所国保年金窓口）

常任委員会

産業商工常任委員会

産業商工常任委員会には、一般会計補正予算のほか、議案1件が付託されました。
主な審議内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算

質疑

今後の企業誘致の進め方は。

回答

福島県東京事務所への企業からの問い合わせや、県及び本市のホームページを閲覧し、直接市に問い合わせがあったものをもとに交渉にあたっている。

質疑

オーダーメイド方式の企業誘致とは。

回答

事業予定が詳細に示されない段階での農地転用は困難であることから、企業からの問い合わせ後、各種手続きを進める方式である。

質疑

白沢直売所の管理区分は。

回答

維持管理、修繕に関しては、直売所、建物本体部分は市である。



昨年8月にリニューアルオープンした白沢特産物直売所

質疑

その管理区分に至る理由は。

回答

本宮市白沢特産物直売所条例により、建物は市の管理で、利用申請のあった者に対し、市長が許可をしている。

質疑

産地生産力強化総合支援事業は、市全体を見た対策を。

回答

他の事例等もふまえ、今後検討したい。

TPP反対！意見書提出

委員から国民の議論がないまま、拙速にTPPへの参加をすべきでないとの意見があり、政府に対し意見書を提出すべきと委員の意見が一致しました。

建設水道常任委員会



アサヒビールと協定を締結している市道新介・恵向線

建設水道常任委員会には、市道路線の認定のほか、議案4件が付託されました。
主な審議内容は、次のとおりです。

市道路線の認定について

質疑

市道に認定する恵向20号線は、通り抜けできる道路なのか。

回答

通り抜けはできない。市道の奥に分譲予定の市有地があり、将来的に、市有地の有効利用が図れるため、認定をお願いするものである。

一般会計補正予算

質疑

市道新介・恵向線の維持管理にかかるアサヒビールとの協定内容は。

回答

道路完成時の平成17年1月に協定した内容は、当該路線の大型車両の全体通行量に占めるアサヒビール関連の大型車両の通行割合が、2分の1以内になるまでは、維持管理費用の半額をアサヒビールが負担するというものである。

質疑

市道新介・恵向線以外に維持管理に関する協定を結んでいる箇所はあるのか。

回答

本宮市工業等団地第3区区内の、市道久保田7号線、市道久保田12号線について、株式会社ユーエイトと道路管理に関する覚書を締結している。

先進地研修報告

議会運営委員会

研修結果

研修項目	・議会運営及び議会活性化、適正な議員定数について
期日	11月1日～2日
場所	福島県須賀川市 茨城県銚田市

須賀川市は、常任委員会の複数所屬制をとっています。予算常任委員会は、議長を除く20人の議員で構成され、全ての予算を分割付託せずに審議しています。予算は予算委員会で、条例等はそれぞれの委員会で分割して審議する事から、議案の関連性の面で、審議する上で不都合が生じないか疑問に感じました。

また、議会の活性化として、平成19年に「議会改革調査特別委員会」を設置し、費用弁償の廃止や議会だより編集委員会の常任委員会化等を行いました。20年には「議員定数等調査特別委員会」を設置し、現在の28名の定数が適正であるかを調査した結果、次回選挙における議員定数は現状の28人とする事が委員長報告され、全会一致により決定しました。

銚田市は、議会基本条例及び議員政治倫理条例が制定され、委員会で議員間の自由討議を採用し、定期的に議員研修や議会報告会を開催しています。



銚田市役所にて

議員定数は改選を迎えるたびに削減している状況にあり、「議員定数及び議員活動に関する特別委員会」において、現在の26人から22人とする中間報告がなされ、12月定例会で条例改正を行う予定です。

研修を踏まえ、本議会運営委員会としては、

- ・二元代表制のもと議会の果たす役割はさらに重要になることから、より多くの市民の意見を反映させ、議論を活発に行うことが議会の責務である
- ・行政の監視機関として常任委員会の機能を充実させる必要がある

以上のことから、本宮市議会における適正な議員定数については、現行の24人が望ましいとの答申書を議長に提出しました。

議会広報特別委員会

研修結果

研修項目	・議会広報編集の取組みについて
期日	10月28日～29日
場所	秋田県美郷町 宮城県七ヶ浜町

美郷町議会は、町村議会広報全国コンクールにおいて2年連続で入賞し、本年度では優秀賞を受賞しています。

広報編集は、見出し・リード・一般質問など記事全般を委員会でを行い、事務局はグラフィックなど事務的な補佐に徹し、記事校正は共同で行っています。

紙面の特徴は、記事、見出し、写真、余白をそれぞれ4分の1の紙面構成となっており、記事や写真がバランスよく配置された紙面です。

また、入札は2年に一度、町外の業者も入れたデザインコンペ方式を採用し、委員がデザインや価格などを点数化し総合得点の上位者に決定しています。

次に、七ヶ浜町議会においても、同コンクールで3年連続入賞しています。

議会広報は、議会の構成員である議員が編集すべきとの考えのもと、広報の編集は、委員会主体の編集で、「議会だより」



美郷町役場にて

「アウト・原稿分担表」により、委員任期中の役割分担を決めています。

コンクール等で常に上位に入賞している背景には、議会広報編集マニュアルを作成し、懸念事例が発生した際には、基本に帰り、マニュアルをもとに委員会で協議しており、ブレのない議会広報紙づくりが評価されているとのことでした。

また、議員全員と編集方針を共有することで、議会広報の発行意義を明確にし、議会広報の向上に努めています。

当委員会でも、読者の視点に立った検討を重ね、議会だより発行に生かしてまいりたいと考えます。



地の利を活かした土地利用計画で雇用創出を！

ここが聞きたい!

一般質問

9人の議員が市政を問う



問 地の利を活かした土地利用計画は
答 工業団地周辺は産業ゾーンに
渡辺 秀雄 議員

問 工業団地に企業が立地していない用地もわずかとなった。未造成区があり、農振地域整備計画等の見直し作業にかかる予定と聞く。
答 雇用対策等を含め、地の利を活かした土地利用計画に、どう取り組もうとしているのか。

問 工業団地の分譲可能な用地も残り約1400坪のみとなった。未造成の第6工区は財政負担の少ないオーダメイド方式で検討していきたい。
答 また、工業団地の周辺地区は市の活力、効率的な機能性の高い産業ゾーンとして検討をしていきたい。

問 行政サービスの格差是正は
答 行政区長を中心に広聴機能を充実
問 合併時の課題であったサービスの格差もほぼ解消しつつあるが、まだ完全とは言えず、今でも合併しなかった方が、と
答 地域の意見・要望は行政区長を通じて提出されている。23年度から行政区長制度と地域活動に対する助成制度を一本化する。これを機に、行政区を中心とした、地域要望の仕組みづくりを進め、広聴機能の充実を図りたい。



問 消防団の更なる活性化を

答 活動しやすい支援を十二分に行う

藤 栄
次 議員

問 消防団活動がしやすい環境を整えるため、
①消防団がいる事業所への協力依頼や協力事業所への表彰を実施しては。
②各分団の更なる活性化のため、費用弁償の増額や適用範囲の拡大を検討しては。
③消防団協力事業所表示制度を導入しては。

答 ①毎年4月、団員の所属する事業所に協力通知を送付している。一日消防団長など行事の中で表彰など協議していく。
②出勤は一日11000円、総額1320万円を支給している。消防精神上、現在の金額が妥当と考える。
③制度導入を目指し、関係機関と調整する。

問 統一した形で消火器点検を
答 統一した形は難しいが慎重に検討

問 ①消火器点検は各分団独自で行っており、地区により違いが出てくる。市内全家庭へ統一した形で期限切れ消火器の回収も含め、点検等の依頼を消防団と協議しては。
②一人暮らしの高齢者や経済的弱者への住宅火災警報器の設置対応は。



女性消防協力隊も火災予防に貢献しています（消防出初め式）



老朽化が心配されるJR本宮駅

問 本市市の人口は減少傾向ではないか。10年後の総合計画では3万2千人を目標にしている。
その計画の際「具体的定任策が不可欠」と指摘されている。
人口減少は社会現象だと決めつけず、具体的調査と、本格的に人口増に取組む市政意欲はあるのか。



問 人口増加は最重点課題ではないか

答 住みよさ部分に着目し進める

夫 和
田 議員

問 総合計画にそって様々な施策を進めてきたが、定任促進の部分までは取り組みなかつた状況もある。
年少人口の増加を図るため、今後さらに、生活環境の整備、医療費の支援など、子育てのしやすい環境づくりを整備したい。

問 本宮駅舎改築こそが最優先では
答 JRに協議要望していく

問 市は、駅利用促進運動に取り組んでいるが、その成果はどうか。市費を投資した促進運動は、その場対策にしかならぬのでは。それよりも、本宮駅を利用する人々に、特に来る方々を気持ちよく迎える、駅舎改築をJRと協議し、市費投資も含め、早期改築実現が先ではないか。

問 本宮駅は老朽化が大変進んでおり、市民からも、改築等の強い要望が出ています。JRと協議をし、計画していくべきと考える。
駅舎を利用した交流場所としての位置付けも必要である。
JRへ機会あるごとに協議、要望をしていく。



市役所では様々な情報処理システムで情報管理をしています



問 情報公開と個人情報保護の考え方は

答 個人情報保護の保護に最大限配慮

作 長 員
谷 議 長

問 一律背反する質問であるが、①市の行政情報の開示の考え方はどのようになっているのか。
②個人情報保護、情報管理のためのパソコンのパスワード管理は。
③各地検から送られる、既決犯罪通知書に基づき犯罪人名簿の管理はいかに。

答 ①市民参加による開かれた市政、行政の透明性を確保しながら判断。
②情報処理システムに入る時は、目的、処理結果まで総務部長が把握している。担当者毎のパスワード管理を行っている。
③犯罪人名簿は、台帳としてコンピューターで管理している。

問 市の更なる知名度アップに向けて

答 イメージキャラクターを調査研究

問 ①全都市住みよさランキング26位、北海道・東北2位。えほが、市民プール、運動施設、みずいる公園等の市外の利用者は。
②各種行事を考慮し、更なる知名度アップに向け、イメージキャラクターを作り、発信する考えは。

答 ①えほがの利用者数は1カ月当たり1万2900人で市内54%、市外46%。市民プールは、21年度で3万8866人、市外の利用は11%。みずいる公園等は、市外から多くの利用がある。
②知名度向上の取り組みとしてイメージキャラクターを調査研究したい。



問 子どもたちに海外体験と交流を

答 国や民間などと連携し考える

雄 民 員
分 議 長

問 今、国際化時代とも言われている中、子ども達には海外の体験・交流が必要と考える。

子ども達の考える力、創造力は大きく、交流により伝統や文化が見えてくる。

社会人となり、様々な場所へ貢献できる人材育成のため、市として海外交流の考えは。

答 小中学校では授業の中で英語指導助手との交流を行っている。

海外派遣事業以外にも、身近にいる外国人との交流などを考えている。

国や民間、各種団体で行っている事業の中で、市が取り組める事業があれば連携し考えたい。

問 本宮の米のブランド化は

答 ブランド化に真摯に取り組む

問 ①22年産米の作況指数は103であったものの、価格下落など農家は深刻な打撃を受けているが、市の対応は。
②本宮の米をブランド化し、販売を推進していく考えは。

答 ①減収に対する支援の必要性は管内の市町村の状況と様々な情報を収集した中で検討したい。
②米のブランド化を目指す何らかの支援があれば考えたい。野菜関係では、認証シール等の交付を行い、販売支援を行っている。ブランド化に向け真摯に取り組みたい。



英語指導助手の授業を通し生の英語を学習しています(本宮第一中学校)



問

市民に信頼される市長の考えとは

答 何事も一生懸命本気で続けること

省議員 藤議 後

問 市長の市民に信頼される「考え」、信頼されてきた「考え」と、今ここにきて、どのような心構えで「市政運営」に取り組んでいるのか。
また、市民のためどのように取り組んで来たのか。今議会、私と市長の最後の質疑、答弁となるので、市長の考えを聞く。

答 基本的に、私は自分の評価は自分でつくるものではないと思っっている。評価・結果は、最後は市民の判断であって、何事も日々全力で本気になって続いていくことが基本である。
会う人すべてが先生であり、師匠だという気持ちで仕事をさせていた。

問 子どもの成長に学校・家庭教育の取り組みは
答 家庭・学校・地域全体で連携

問 ①学校教育も大切であるが、人間形成に、しつけ・礼儀・道徳教育の根底は家庭教育にある。一番大切なのは、幼児期教育と思うが、本市の幼稚園、保育所の取り組みは。②文部科学省のマニュアルだけでなく、市独自の対策はあるのか。

答 ①道徳の基盤となる子どもの感性を育て、道徳の芽生えを職員一同が共通理解の上、子どもたちがかかわっていきたい。②家庭教育を支援するひなげし学級の開催や教育ボランティアの活用など、地域全体で家庭教育を支援している。



早急に乗車率向上の取り組みを！



問 新交通システムの現況と改善は

答 乗車率の向上に努める

七太 根本 議員

問 新交通システムは昨年4月にスタートし、1年8カ月が経過したが、市民から乗車率が低く、見直し改善すべきとの声がある。
私も、全路線を午前と午後に乗車したが、利用者は少ない。
福祉事業とは言え、車両を小さくするなどの改善を図るべきと思うが。

答 乗車率は、前年同期と対比し、通勤通学、市街地巡回、デマンドタクシーは少しずつではあるが増加している。
バスは、複合的に利用しており、小型化は難しい。
今後、乗車率向上を図るため、乗降調査の実施をし、市民のニーズに応えたい。

問 社協事務局職員配置の考え方は
答 社協との協議の中で検討する

問 近年、少子高齢化社会を迎え、社会福祉協議会の果たす役割は大きく、事務局は組織の要であり、腰を据えて取り組む姿勢が強く求められる。社協の充実には、官民問わず、事務経験豊富な定年退職者が良いのではと思うが、市の見解は。
答 社会福祉協議会の果たす役割は大きく、事務局長は、市の派遣職員として重要な責任を担っていることは承知している。
市民の福祉向上のため、社会福祉協議会と、どういった形がいいのか協議をしていく。



定例会最終日にあいさつを述べる佐藤市長



施設内で放し飼いの烏骨鶏（本宮烏骨鶏生産組合）



問 行政の責務！健康絶好調を市特産に

答 健康増進事業として展開

勤 山本 議員

問 粟膳鶏、ビール酵母本宮烏骨鶏、ビール酵母卵、卵油を広く活用し、県立医大の応援を受け、本宮烏骨鶏生産組合と連携し、本宮烏骨鶏を特産品にしては。

答 健康絶好調を市特産にすることがこれからの行政の責務であると考え、市の見解は。

問 本宮烏骨鶏は、誕生から15年が経ち、粟膳鶏と呼ばれるまでになった。卵は菓子などの材料に利用されるなど、生産組合の努力の結果である。市では、健康増進をキーワードに様々な事業を展開している。今後、市民の健康づくりを通し、生産組合の発展を図りたい。

答 本宮烏骨鶏は、誕生から15年が経ち、粟膳鶏と呼ばれるまでになった。卵は菓子などの材料に利用されるなど、生産組合の努力の結果である。市では、健康増進をキーワードに様々な事業を展開している。今後、市民の健康づくりを通し、生産組合の発展を図りたい。

問 施設を建設し借金を残すより、国の補助制度を有効に活用し、保育ママ制度を実施することで、雇用の拡大、経済の活性化、人口増加と定住化が図られる。

答 家庭的保育事業を優先して取り組むべきと考え、市の見解は。

問 家庭的保育事業を取り組むべき

答 慎重に検討していく

答 幼保一元化施設は自主的財政健全化計画、学校施設等耐震化推進計画に基づき進めていく。家庭的保育事業の保育ママ制度は、22年4月から国の制度として位置づけられた。いろいろと課題もあり、慎重に検討していく。



問 期日前投票の簡素化を

答 宣誓書のダウンロードで時間短縮

川名 順子 議員

問 ①従来行われていた不在者投票は、投票用紙を封筒に入れ、署名するなど、面倒な手続きの必要があった。期日前投票は直接投票箱に投函でき、全国的にも増加傾向にあるが、本市の実態は。

答 ①選挙の回を重ねるたびに増えている。②期日前投票は、投票日当日投票所に行けない方のために導入された制度。入場券に宣誓書を印刷することは、県内13市でも実施していない。次回の選挙から、ホームページでの宣誓書のダウンロード化を図り、待ち時間短縮に努めたい。

問 図書行政を問う

答 市民の読書啓発に取り組んでいる

問 ①読書活動の推進は、学校・家庭・地域が連携した取り組みが重要。本市の国民読書年の取り組みは。

答 ①リアフリー絵本展、読書の街もとみやのキャラクタ―名称募集など各種事業を展開。②読書ボランティアの研修を実施し、ネットワーキング化に向け、司書の一業務を手伝いたい。③読書の街もとみやを推進し、各種事業の中で展開したい。

問 施設を建設し借金を残すより、国の補助制度を有効に活用し、保育ママ制度を実施することで、雇用の拡大、経済の活性化、人口増加と定住化が図られる。

答 家庭的保育事業を優先して取り組むべきと考え、市の見解は。



小学校で読み聞かせを行う図書ボランティア（和田小学校）



12月定例会を傍聴された方は60人でした。
岩根小学校の6年生34人も傍聴に訪れ、高久万里奈さんと加藤ちひろさんに傍聴の感想をお聞きしました。

12月3日、本宮市の市議会見学に行ってきました。どのよう
に話し合いをしているのかわ
きたいと思っていました。
本宮市の市議会は、24人で構
成し、その任期は4年だとい
うことが分かりました。わたし
は、市議会見学をして、すごい
と思ったことがたくさんありま
した。その日は、渡辺秀雄さん
という方がたくさん自分の意見
を言っていました。話し合いを
聞いていると、意見を言ってい
る人は、地域の人たちのために、
意見を言っていることがすごい
と思いました。
私だったら一時間も自分の意
見を言えないと思います。それ
ほど本宮市のことを考えている
んだなと思いました。
今回の学習でわたしは、市長
さんを中心に市議会の議員の
方々が、市民の皆さんに代わっ
て討議し、良い市政のために努
力していることを知りました。
これから市のためにがんばっ
て下さい。



高久万里奈さん

私は、市議会を見学してとて
も勉強になりました。市議会
は、40人ぐらいの人が、話し
合いをやっていました。一人の
人が代表で意見を言い、まとめ
いくことも初めて分かりまし
た。
市議会の様子は、とても静か
でした。辞職した人が3人いま
したが、定足数を満たせば、話
し合いをすすめることも知りま
した。
私は、この学習を通して市議
会では、どんな仕事をしている
か知ることができました。市議
会では、市の条例を決めたり改
正したり、市の予算や税金の使
い道を決めたりしています。
私たちの学校の新校舎につい
てもここで話し合いをされてき
たんだなあと思いました。私は
ぜんぜん知りませんでした。
お仕事は、大変だと思いま
すが、本宮市のためにいろいろ
のことを考えてくれていてすご
いと思いました。



加藤ちひろさん



あしがき

議会だよりが市民の皆さんに親
しまれ、愛読していただくために、
12月定例会を前に、秋田県美郷町
議会、宮城県七ヶ浜町議会を訪問、
各広報委員会の皆さんと懇談し、
研修をして参りました。

美郷町は、全国町村議会コン
クールで優秀賞、七ヶ浜町は奨励
賞に輝いた議会広報の先進地であ
ります。

予算の絡みもあり、すべてを参
考にできませんが、新たな紙面
これまでと変わったと感じられま
したら、それが研修の成果と思っ
てください。

この議会だよりが、皆さんに届
く頃は、節分前の厳寒と思います。
皆さんの心を温かくさせる広報を
願ってペンを止めます。
(七)

議会を傍聴して
おまかせ

3月定例会は
3月上旬開会予定です

議会事務局

TEL 33-1111(内線301)



印刷紙は100%再生紙を使用しています。